

【論文タイトル】 健診で右上肺野腫瘤影を指摘されたのを契機に判明した限局性肉腫様胸膜中皮腫の 1 例

【著者名】 浅野 俊明 岩間 真由子 田中 太郎 西尾 朋子 今村 妙子 島 浩一郎

【所属機関名】

名古屋掖済会病院呼吸器内科

【要旨】

症例は 65 歳男性. 健診で右上肺野腫瘍影を認めて紹介. CT では右上葉に 72 mm の腫瘍を認めた. CT ガイド下生検を行い悪性腫瘍が判明した. 複数の病理医によって検討されたが確定は困難であった. 診断を確定するために全身麻酔下で胸腔鏡下肺生検を施行して, 最終的に限局性肉腫様胸膜中皮腫と診断. ニボルマブ・イピリムマブ (nivolumab/ipilimumab) 併用療法を開始した. アスベスト曝露歴がある場合には腫瘍性病変であっても, 限局性胸膜中皮腫を念頭に置く必要がある.

【キーワード】

限局性胸膜中皮腫/Localized pleural mesothelioma, 肉腫様/Sarcomatoid type, 胸腔鏡下手術/Video-assisted thoracic surgery, 胸膜腫瘍/Pleural tumor, CT ガイド下生検/Computed tomography-guided biopsy.

【短縮タイトル】

健診で判明した限局性肉腫様胸膜中皮腫の 1 例